

令和7年度高槻市中心市街地活性化協議会

にぎわい・商業活性化部会 活動録

はじめに

第2期中心市街地活性化基本計画が終了し、中心市街地活性化協議会は休会となっているが、令和6年度に協議会の商業者会員からの推薦者を中心として「にぎわい・商業活性化部会」を結成し、安満遺跡公園などの新たな集客拠点からの人流づくり等を目的に議論を重ねた。

そして、令和7年度、同部会で得られた方向性に基づき、若手商業者等による企画チームを結成し、街の魅力をより届けやすいよう編さんした情報発信媒体を作成・設置した。

1. 企画チームについて

若手商業者や事業者で結成（令和7年6月）

2. 活動歴（令和7年6月～令和8年3月）

各回	内容
第1回	前年度議論を踏まえた取組方向性の検討
第2回	街の情報発信ツールの状況共有とツールの方向性の検討
第3回	情報発信ツールのコンセプトや内容検討
第4回	情報発信ツールの内容検討（テーマに沿った店舗・スポットの整理）
第5回	取材などの役割分担
第6回	進捗状況の共有等
第7回	冊子内容の最終確認
第8回	チーム活動の振り返り

3. 制作コンセプト

すでに街には様々な情報媒体があるが、網羅的に街を紹介するものが多く、ターゲットが不明瞭である。そのため、この度の企画では、街を訪れる人それぞれの生活スタイルや好みごとに情報の切り口やテーマを定め、街の魅力を届ける方法を考える。

4. 制作物

中心市街地商業等の情報発信冊子「高槻ジンジン」の発行（令和8年2月）

5. 狙いや工夫

- ・“ディープな高槻”に反応する人を狙う
どっぷり”高槻人“のチームメンバーが本当に良いと思うお店を選び掲載
- ・”目を引く冊子デザイン“
ディープな高槻はどこか懐かしくレトロな一面を持つことを、人目を引くデザインで表現
- ・“7つの過ごし方”で提案
街の使い方をイメージしやすくするため、掲載店舗を過ごし方で分けて掲載

6. 設置場所

	施設等の名称
商店街	中心市街地の商店街
集客拠点	高槻城公園芸術文化劇場
	安満遺跡公園
	ホテルアバストグランデ高槻
	JR高槻駅（観光協会案内所）・阪急高槻市駅（観光協会）
	高槻阪急スクエア
松坂屋高槻店	
教育機関	市内大学キャンパス
公的機関等	高槻商工会議所
	高槻市役所（中央図書館ほか）
	クロスパルたかつき

その他、各掲載店舗等にも設置

7. 効果の確認

冊子を手にとった人、掲載店舗に向けたアンケートの実施

8. 活動成果

- ・街の魅力の再発見
多様なメンバーによる情報の持ち寄りにより、街の店舗やスポット等に関し広く深く知る取組となった

- ・担い手の拡大

企画チームメンバーや掲載スポットなど、街の活性化活動への関与が薄かった主体にアプローチし、協働することができた

- ・活性化の土壌づくり

冊子のコンセプト等から議論、作業することで街のメンバーによる主体的な活動として実施することができた

- ・活性化プロセスの再確認

街を網羅的に扱わなかったことで、様々な展開につなげていける取組にできた